

農泊の提案書を作成する前の自己チェック表

協議会等名：

事項	適正	不適正
事業の目的	① 農泊により地域の活性化（地域の所得向上、地域の雇用創出、地域の食の安定供給により、地域へ儲け）を推進したい。	① 個人や一部の団体が儲かればそれで良い。
	② 農泊を推進したい。	② 目的は何でもよいので自分たちが今やっている活動を維持するための補助金を貰いたい。
	③ 農泊をビジネスとして実施したい。	③ 儲けはいらぬ（趣味の延長程度。補助が終わったら活動も終わり。）
取組	④ 宿泊・食事・体験（交流・買い物含む）の3本柱を磨き上げたい。	④ 宿泊・食事・体験の中の一部を磨きたい。
	⑤ 滞在型観光（滞在時間が長い、泊りに繋がるコンテンツの磨き上げ）を推進したい。	⑤ 通過型観光（滞在時間が短い、日帰り）を推進したい。宿泊受入は大変なのでやる気はない。
	⑥ 宿泊・食事・体験において、 泊まりまで繋がるキラーコンテンツ候補がある。 （そこに行く・泊まる必然性あり）	⑥ 育てたい観光コンテンツがない。
	⑦ 来訪者に喜ばれるコンテンツを売りたい。	⑦ 自分の売りたいものだけを売れば良い。
	⑧ 持続可能な価格設定を行う。	⑧ 料金設定が不適切。（お客様満足度を把握しない、満足してもらえる取組が分からない）不当に安価である。
地域との連携	⑨ 地域協議会や中核法人が設立済み。又は設立が確実。	⑨ 地域協議会や中核法人のなり手がおらず、設立するつもりもない。
	⑩ 関係団体や施設において複数人で役割分担を明確化し、中核法人が中心となり各関係者を束ねる。	⑩ 関係団体や施設において役割分担が不明確。（何もかもほぼ1人で行っている。各団体がバラバラ）
	⑪ 地域や役場と意思疎通できる。	⑪ 地域や役場と意思疎通する気はない。
	⑫ 地域や農林漁業者の顔が見え、地域が一丸となり、やる気がある。	⑫ 地域の顔が見えない。（見えるのは一部の人のみ）
事務局体制	⑬ 他の業務を抱えているが、農泊の事務を優先する。	⑬ 事務をする人がいない。（調査依頼しても締め切りを守らない、事業完了後も必要）

注意：提案書を作成する前に自己チェックを行ってください。国が応援・支援する農泊とはどのようなものか。ご理解いただけると幸いです。